

## 「夕暮れのひと時」

今年もまたアオバズクの季節が来ました。ホッホー、ホッホーというやさしい声が聞きたくて、夕暮れのひと時を真光寺川のほとりで過ごしました。

明るかった空の色が徐々に沈んでいきます。すると西の空に一番星が……「あ、金星！」と思わず声に出してしまいました。それに続いてもう一つ明るい星、これは木星でしょう。こんなふうに星が一つ、また一つと見えてくるのを見守っていくなんで、普段の生活ではなかなかできません。おまけにこの日は金星よりも低く、水星まで見えたのです。

まわりが暗くなってきた頃、向こうの山のほうからホッホーと懐かしい声が聞こえてきました。今年も南の国から渡ってきてくれたのですね。鳴き声は雌

を誘っています。ここでつがいになって、今年もケヤキの洞で子育てをしてくれるでしょうか。そんな情景が今年も来年も、いつまでもずっと続いてくれますように。

帰り道、そこらじゅうからジージーと大きな音がわきあがってきました。これは地面の下でオケラが出している音だとか。畑をやっている友人によると、オケラの通り道は固く塗り固められた管のようになっているそうです。その管に反射して、地面の外まで音が広がるのでしょうか。

毎夕繰り広げられる普通にある情景でしょうが、その時間は私にとってかけがえのない、豊かなひとときでした。「平和」の二文字を強く意識した時間でもありました。

(小川)

